

日刊 磐城時報

福島縣石城郡平町町屋町十四番地
編輯兼發行人 岡田 弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
廣告料 一行十四字 日五字 月一元 半年五元 一年十元
訂費 一月一元 三月三元 半年五元 一年十元
電話 二一四號 二一五號 二一六號

宣言書等も現はれ 本舞臺に入つた町議戦

候補者續々現はる

平町會議員の候補者も續々名補を承諾しないので十日午後一
乗りをあげるに至り政戦漸やく時から更に候補者豫選會を開く
本舞臺に入つた観があるが、候事になつた。
補者によつては早くも立候補の
宣言書を配布したものあり、漸
やく活況を呈して來た。

根本氏 正式届出

平町月見町根本品藏氏は十日選
舉事務長を佐藤源五郎氏として
正式に立候補の届出をなした

二丁目目 げふ豫選會

平町二丁目では山崎幸之助、丹
野榮三郎、柏原眞吾三氏が立候
始する事になつた。

採み抜いた植田町長 愈々決戦投票

げふ町會で決定

植田町長選挙問題は政民兩派がたが、政友派は古川縣議を推し
互に同数で何回協議會を開いて 民政派では黨縣議を推してゐる
も總まらず町長代理の助役も近
く任期が満了し結局事務盤算を
うける事になるので政民兩派で
は今日町會を開いて決戦投票
▲山の手青年總會 小名濱町小野平氏出願の平、
小名濱町自動車運轉の件は近
く集會は十二日午前九時から澤渡
認可する見込みが立つたが、

川百十番地、草野村下神谷釜の
臺二十六番地の山林は九日保安
林を解除された。
▲坂上社掌辭職 平町
村社八坂神社々掌坂上龍八氏は
願に依り職を解かれた。

高久村議 繰上改選

高久村では選挙期日繰上のため
九日村會議員が總辭職をなした
る十八日執行する事になつた
▲保安林解除 四倉町視
を加へるの場に昏倒するのを見
る事になつた。

春繭出廻り期から 操業を開始する

近く工場落成式舉行 操業の盛觀を期待する

昨秋十月二百萬圓の巨費を以て
創立と決定した片倉製糖株式株
式會社の工場は平町月見町に敷
地を設け着手以來工事が順調に
進み一切の準備が終了したので
近く盛大な工場建築落成式を舉
行の上愈々春繭出廻り期に入れ
ば操業を開始する筈であるが郡
内養蠶業者は勿論三郡下當業
者が要望してゐた此の大製糖工
場の操業の盛觀は今から期待さ
れてゐる。

鹿島玉川に 遊園地計劃

小名濱町小野平氏出願の平、
小名濱町自動車運轉の件は近
く集會は十二日午前九時から澤渡
認可する見込みが立つたが、

同僚の頭部を ツルハルで一撃

平機關庫主任鈴木宗吉氏の榮譽

平機關庫は東京鐵道局管内に於
て成績優良の故を以て幾度びか
表彰されたが、同機關庫では今
回同所所屬の機關車が延哩數に
して一萬哩を運轉したがこの間
全く事故を起さなかつたといふ
ので機關庫主任鈴木宗吉氏以下
が近く東京鐵道局長から表彰さ
る事になつた。

雇人の悪事

平町紺屋町有松音吉(二〇假名)
は九日同町馬目よし方から金十
圓を窃取して素知らぬ顔をして
ゐた處を平署刑事に捕はれたが
同人は石川町で自轉車泥棒、横
領、詐欺を働いた事を自白した

墜落惨死

内郷村大字宮野城炭礦運搬夫井
坂政一(二二)は七日午後四時半
頃高さ十尺の貨物運搬用鐵柵か
ら墜落惨死した。

町村會議員 選挙注意要項

選挙運動の費用は衆議院議
員選挙法の趣旨に則り左記制
限を越えざることを要する

緑蔭漫言 和歌蘭生

「群盜」を讀んで僕は思ひ出し
たのであるが、早稲田文學(大
正十四年九月號)に小島氏の
創作「地平に現れるもの」が載
つたとき僕はそれを讀んです
っかり感心したと云ふよりは
驚嘆してしまつた、早稲田文
學はこの創作の爲に發賣を禁
止されたやうに記憶してゐる
が、ある批評家は「地平に現
れるもの」を批評して將來創
作の内容と形式との變革に
暗示を與へるものであると

限を越えざることを要する
但し市町村に於ける實情を
參照し其の限度内に於て所
轄警察署長は更に増減協定
するを妨げず
イ、選挙人名簿確定の日に於
て之に登載せられたる有権
者數五百人未滿なるとき
五〇圓以内
ロ、同五百人以上千人未滿な
るとき一〇〇圓以内
ハ、同千人以上五千未滿な
るとき二〇〇圓以内
ニ、同五千人以上なるとき
三〇〇圓以内
三、選挙運動の費用は選挙事務
長にあらざれば支出すること
を得ざることを要する
但し議員候補者又は選挙運
動員は選挙事務長の承諾を
得て之を支出することを得
ること
四、選挙事務長は支出簿を備へ
選挙運動費用の一切を記入し
置き選挙終了後精算書を内製
し選挙期日より十四日以内
に所轄警察署に届出すること
五、選挙運動の費用の支出を爲
したるときは其の都度領收書
其他の支出を證するべき書面を
徴し支出を明瞭にし置くこと
六、選挙事務長以下所轄警察署
に届出たる選挙委員に給與す
る賞費貨物及選挙事務員の報
酬額は別表の範圍を越えざる
こと

假令、投獄されなかつたとし
ても、我々の意見は全く犠牲
になつたものと同意見だつた
のです
この文句で僕は考へさせられ
たのである、僕の友人はいま
四倉騷擾記をせつせと書いて
ゐるが、それは四倉騷擾事件
の真相記であつて友人の工は
これを書くのは四倉の首者ど
もに讀ませる爲ではない、事
件の渦中にありながら陰で赤
い舌をペロリ出して犠牲者を
馬鹿者呼ばはりした、卑劣極
まる青年達を永久に曝すため
であると言つたが、伏石事件で
は雲泥の差があつたのである
み、思はせられるのである
(終り)

云つたやうなことを述べたく
らうであつたので、僕は小島
助とはどんな風歴の人なのだ
らうかと現代文士録を繰つて
みたら、明治三十三年仙臺市
に生る、早稲田大學文學部哲
學科出身とあつたので、また
僕はびつくりしたと云ふのは
まだ若い人だつたからである
「群盜」四幕目に爭議の犠牲に
なつた二十四名の救済方法に
就て協議してゐる處がある、
が、組合員の一人は「自分は
反對に犠牲者を救ふために
外の全部の組合員が犠牲にな
ることを要求したいと言つて
ゐるのです、一人殘らず自分
自身を投げ出して、救済して
欲しいと願つてゐるのです」

平機關庫主任鈴木宗吉氏の榮譽
同僚の頭部を ツルハルで一撃
雇人の悪事
墜落惨死
町村會議員 選挙注意要項
緑蔭漫言 和歌蘭生

自動車協會平支部 創立發會式

役員を決定す

縣自動車協會平支部の創立發會式は九日午後一時から平警察署みでなほ嚴重取調中である。

時報文藝

◎詩集より

田町 佐藤宙宇二

豚がする三ツのノックスは
河馬のやうな女中が
居ねむりをする頃だ
提灯なんか出てやしない
女中部屋をさす見する
弟達が時々云ふ
豚がする三ツのノックスは
肥えたるまの
ねほけ目をこする頃だ
ちつとも怒つてやしない
俺が時たま見ても思ふ。

レオン・ポオル

フアルグ詩抄

警越銀行 正木朝夫

(上)

モルフの翼のやうな碧い曉は
なほ開らくことだらうか、そ
こには壁の曲角に明々たる階
級ある見知らぬ路が仄に開
き、そしてその暗い口でわれ
われに聲低く話しかける……
そこに鳥が泊りをつくる。そ
して云ふ……ミクルテイス、
さよの優し……

街は眼を出された麵配りの
女のやうに悲しい、そして凡
ての家々は灰色の前垂れを掛
けてゐた……かなた高く古び
くばんだ階段は凡てのものゝ
額である夢みる空に觸れてゐ
る……カンケ燈はその空洞の
焰をかしげ、そこでは思想の
鶏冠ひとが殺されなかつた古
い思想の鶏冠がなほも燃えて
ゐる、あだかも新しい太陽に
熱を呼びかけるやうに……

▲無銭で宿泊 平町長橋
町旅館小島屋方に十数日前から
宿泊してゐた二人づれの者の舉
動が不審なので平署員が取調べ
たところ同人は耶麻郡奥川村生
れ奥竹喜興(二八)茨城縣久慈郡
諸野村生れ小野瀬七之助(四二)
といひ懐中無一文にて投宿した
上六日平町八幡小路平區裁
判所前の土地揭示板から土地登
記公示書類を全部盗み取り賣地
買業をなしたものと、如く装ひ
兩名は八日夜小島屋主人から金
を借り受け逃走せんとしてゐた

五月十日替り

帝キネ現代劇
藤間林太郎 歌川八重子共演
悲劇 戀を握る
實に戀愛こそ愛多しと、
……人生戀を握るに如何に
苦勞多きことか。

マキノ省三總指揮
壽々喜多呂九平作品
マキノ正博主演

矢 倉
松浦築枝、東郷久義助演
大帝キネ最近超特作
明石緑郎決死的主演

夜 ぐら ぐら
千草香子、高津愛子助演
カラスが啼いた、また血が
流れる、辻斬、若僧の出現
目明九藏の活躍?

普通席 金十錢

有聲座

幸福さうに見える……宮殿の
正面、金を色をいた屋根よりも
高く、薔薇色の大時計は顔の
やうに蒼蒼めてゐた……天幕
生簾をして坂を登つてゐる小
さい庭は、獸のやうに立つた
まゝで眠つていた……地面に
砕けた幾らかのゴツゴツが輻の
やうに泪を送る、前夜の多く
の泪を……低く、鴨色の街
には往き來の人、日の最初の
人々を夜の人々が、横はつた
闇の死骸を跨ぐ……

初夏

本年流行
婦人洋傘
ワイシャツ
ネクタイ
各種

平町四丁目
マルツヤ商店

平産婆看護婦學校に 就學希望者一名募集

卒業迄の學費を支給 何處より通學する
も可 卒業後は本人の自由

平町 南町
字 佐美藥局

治淋新劑

強 効 絶 無 廣 く 賞 識 さ れ る 所 以 也

大平屋藥店

電気ビクターレコード新荷着

吹込三月吹込の新譜が揃ひました
○御電話があれば早速音譜目録御届致します

都 々 逸

「ラヂオ一訓レコード」かけりや
日々に聲が聞かれます「アコリヤ」
蓄音器の時節が参りました器械が破損など致して居りま
したら特に安く親切に修繕致しますから御電話なり御掛け
下さい早速上ります。

特約店 平町三番 大谷時計病院
電話十九番

二葉印刷所

平町 字 仲町
電話 七四三番

御婚禮用品三井

電話 三十八番
七五一番

支那六神丸

特約店 平町五丁目 山野邊藥局

煙突は 朝日

石綿セメント製

絶対的
はぜない!!
やけにくい!!
くさらない!!
経済的で
火災の心配が
ない

特約店 大平屋藥店
電話 九三九番

印刷物には加納活版所